

受章おめでとうございます

秋の叙勲・秋の褒章の受章者とその他の各表彰者を紹介します。

秋の叙勲

瑞宝単光章(消防功勞)

おにはし
鬼橋 良一さん
りよういち

(志佐・笛吹、65)



昭和52年1月に地域住民の要望に応じて松浦市消防団に入団後、旺盛なる責任感と積極的な実行力を発揮し、35年の長きにわたり、消防団員、消防団幹部として活躍されました。

平成14年に本部分団長、平成16年に副団長に就任。平成18年1月1日に1市2町合併により新体制となった松浦市消防団では、平成20年に第2代団長として就任されました。広範囲となった市全体に目を配り、地域住民の安全確保を第一に考え行動し、後進の育成指導に努められました。また、地域住民に信頼感を与えたとともに、あらゆる災害事象に対応できる知識と技能の養成を図るなど本市消防団の設備増強、近代化に大きく寄与されました。

秋の褒章

藍綬褒章(防犯功勞)

うえまつ
上松 シズエさん

(今福・仏坂、88)



昭和61年に少年健全育成、非行防止、地域安全活動の推進などを目的に県下初の地域婦人部、農協婦人部、漁協婦人部の3部門を統合した「今福防犯母の会」を発足。発足時から23年間会長を務められました。

松浦鉄道各駅の清掃や植花による美化活動、刑務所・少年院などの訪問・慰問活動、高齢者宅の訪問活動など斬新なアイデアと積極的な行動力により幅広い地域安全活動を展開されました。会長職を退任し顧問となられてからも、会員の指導や松浦地区連合防犯協会との合同防犯パトロールへの参加など、防犯意識の高揚を図られています。

平成29年度松浦市スポーツ賞・松浦市体育協会体育功勞賞表彰

松浦市スポーツ賞および松浦市体育協会体育功勞賞の表彰式が11月1日、松浦市生涯学習センター(きらきら21)で行われました。この表彰は、本市のスポーツの振興を図ることを目的に毎年実施され、スポーツの普及・発展への大きな貢献、また、スポーツ分野で優秀な成績を取めた個人や団体に贈られるものです。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【松浦市スポーツ賞(個人の部)】

〈水泳競技〉

太田 紗彩(志佐小6年)

〈水泳競技〉

太田 諒(佐世保北中2年)

〈陸上競技〉

吉浦 悠(志佐中2年)

〈ボクシング競技〉

野上 昂生(鹿町工業高2年)

〈グラウンド・ゴルフ競技〉

眞島 鎮馬(志佐・蛭子崎東、84)

【松浦市スポーツ賞(団体の部)】

〈軟式野球競技〉

松浦少年野球クラブ

〈バスケットボール競技〉

志佐小学校女子ミニバスケットボールクラブ

〈グラウンド・ゴルフ競技〉

里クラブA

【松浦市体育協会体育功勞賞(個人の部)】

松浦市陸上競技協会

小畑 久之(今福・北東3、60)



松浦市民体育大会



- ①ピリピリサンダーズ
- ②北久保クラブ

10月1日・11月5日

◆軟式野球

市民運動公園・志佐中学校グラウンド

- ①かしら会
- ②御厨

【実年SP】
10月23日
市民運動公園

②鷹島クラブ

①今福OB

【壮年SP】

10月22日
市民運動公園

②松浦ソフト

①絆

【一般FP】

10月10日
市民運動公園

◆ソフトボール



平成 29 年度地区対抗 ソフトボール大会

平成29年度地区対抗ソフトボール大会が10月14日、鷹島総合運動公園グラウンドで開催されました。

この大会は、地域住民の親睦と融和を目的に毎年開催されており、今回は鷹島町内の8地区（阿翁浦、阿翁、里、石川、中通、殿ノ浦、原、三里）で熱戦が繰り上げられました。

上位の結果は次のとおりです。

【優勝】 中通

【準優勝】 阿翁

【第3位】 阿翁浦



わたしたちの郷土

140
巻



鷹島海底遺跡の遺物が韓国で展示されます

大韓民国国立済州博物館特別展「三別抄と東アジア」に、鷹島海底遺跡から出土した「甕」や「てっはう」など41点の遺物が展示されます。

この特別展には、日本から鷹島海底遺跡をはじめ、福岡市博物館の「蒙古襲来絵詞模本」、福岡市埋蔵文化財センターの「礎石」、沖縄県立博物館・美術館と沖縄県浦添市がそれぞれ所蔵する「高麗系軒丸瓦」など59点が展示されることとなっています。

特別展のテーマとなっている三別抄とは、高麗王朝時代の軍事組織です。当初、国内の反乱鎮圧などのために臨時編成された組織でしたが、半ば常備化したことで、左別抄、右別抄、の2部隊となります。その後モンゴルの捕虜から脱出した人員による神儀軍が加わり3つの部隊となり、総称して三別抄と言われるようになります。

13世紀初め、チンギスハーンが巨大なモンゴル帝国を築きます。その孫フビライは国号を元と改め、南宋を圧迫する一方、朝鮮半島の高麗を服属させました。しかしながら、元への服属をよく思わない三別抄による内乱が頻発することとなります。江華島や済州島を拠点に抵抗つづけた三別抄の乱は高麗軍によって1273年に鎮圧されます。そして、その翌年の1274年には高麗軍とともに元が日本を襲うこととなります。

今回の特別展は、三別抄の拠点となった済州島など3か所で開催されます。展示期間は、国立済州博物館が12月5日から2018年2月28日まで、江華歴史博物館が2018年3月27日から5月27日まで、国立羅州博物館が2018年6月26日から8月19日までとなっています。



▲専門業者による梱包作業



▲貸出し遺物の確認作業